

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

5-II-1

5-II
-1

5-II -1	章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	伝統文化保存団体との連携
	節	Ⅱ. 伝統文化・地場産業の振興	事業主体	佐渡市社会教育課
	事業(施策)名	1 伝統文化保存団体連絡会議	関連団体	佐渡市世界遺産推進課
	事業実施期間	H28～R4		
事業概要	【事業目的】	○島内の伝統文化の振興に向けて、関係団体の連携体制強化を図る。		
	【事業内容】	○伝統文化の効果的な情報発信や振興に係る課題の共有に向けて、島内の伝統文化保存団体や佐渡金銀山関連団体等による連絡会議を開催する。		
30 事業計画と実績	【30年度計画】	●佐渡の伝統芸能である佐渡民謡を普及するため、第3回目となる「佐渡民謡の祝祭」を開催する。その中で、島内の民謡団体等による会議を開催する。		
	【30年度実績】	●第3回となる「佐渡民謡の祝祭」を佐渡奉行所で開催した。民謡団体のほか、小学校1校、民謡歌手や民謡歌唱大会優勝者を招くとともに、物販販売やおけさ笠制作体験などを実施し、集客を図った。 ・会議実績 9月6日(木) 畑野SC 約20名出席 (内容) 1. 第3回佐渡民謡の祝祭にかかる説明 2. 祝祭内で開催する継承事業「おけさトライアスロン」にかかる説明 イベント実績 9月22日(土) 来場者700人(計画1,000人)、出演団体 17団体(計画20団体) 関連イベント おけさトライアスロン、おけさ笠制作体験、バルーンリリース、物販店舗		
課題・今後の取組	【課題】	■ 実行委員会の体制がまだ磐石ではなく、役員の意識の向上が必要。		
	【今後の取組】	■「佐渡民謡の祝祭」の継続実施。 ■人形芝居など民謡団体以外の団体間の連携体制の強化を図る。 ■佐渡金銀山関連団体との連絡会議の設置を目指す。 ■R1開催の「新潟県国民文化祭」と連動し、佐渡おけさのルーツといわれる「牛深ハイヤ」を熊本県天草市より招聘し上演する。		
事業評価	【事業の達成度】	◇今後は、イベント内容の見直しや芸能のレベルアップ、持続可能な運営を追求していく必要がある。また、島外からの誘客を図る必要がある。 なお、30年度、伝統文化保存団体連絡会議を開催したことからBとした。		
	【事業実施の効果】	[a (b) c]		
	【総合評価】	[A (B) C]		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。